



学期末メモリアル3

今学期も 地域の方々に大変お世話になりました

学区の防災について学ぶ

11月29日(火)5年生の総合的な学習「自然災害について調べよう 実行しよう 伝えよう」に、ゲストティーチャーとして防災士の資格をもたれている小寺(連合町内会長)さんに来ていただきました。

「防災士」の仕事についてのことや、災害に備えること、タイムラインやハザードマップの見方や作り方等、様々なことを教えてくださいました。当日は、実際に避難所で配布される非常食なども用意してくださっており、子どもたちの防災に対する意識はより高められたようでした。

5年生の子どもたちは、今回の学んだことをもとにしてさらに学習を深め、3学期には、3年生に向けた「防災教室」を開く予定にしています。どんな学習成果が発表されるのか、今からとても楽しみです。



また、12月5日(月)にも、3年生の総合的な学習「曾根のお宝発見！」ゲストティーチャーとして小寺さんは来てくださいました。

地域の安全パトロール隊(通称:青パト隊)の一員でもある小寺さんから、その仕事の意義や役割、地域の安全に関することなど、いろいろなことを教えていただきました。

山本一舟先生の書写指導

1学期7月に引き続き、山本一舟先生が3~6年生の書写指導にお出でくださいました。今回は、「書初め」の指導です。

曾根小での「書初め」指導は、昭和50年代から続けてくださっており、課題となる文字や一人一人の名前まで先生自らが個別のお手本に書いてくださったものを子どもたちに配付しています。

姿勢や腕の動かし方、筆の向きや穂先がどこを通過しているのか等、水書板を使って文字の書き方のポイントをひとつひとつ丁寧にご指導くださいました。各学年2時間ずつ集中してがんばったので、どの子も堂々と力強い文字を書くことができました。



3年生「わら細工を楽しむ会」

3年生は、総合的な学習「曾根のお宝発見！」で、1学期から地域のお米作りについての学習を進めてきていますが、12月15日(木)には、学区の老人クラブ連合会の皆様にご協力をいただき、曾根小恒例の「わら細工」についての学

習をしました。コロナ禍以前には、高学年が体育館で「お飾り作り」をしていたそうですが、昨年度より3年生の総合的な学習の時間で取り組むようになりました。稲藁の刈り取り方やお飾りの由来、いろいろなお飾りの種類があることや、干拓地である曾根の昔の苦勞など、多くのことを教えていただきました。



「おいしいね！ソーネ！太陽農園」サツマイモの収穫

地域の皆様にご協力いただいで、5月中旬に植えた学校農園「おいしいね！ソーネ！太陽農園」に植えていたサツマイモの収穫をしました。11月30日（水）に1～3年生、12月1日（木）に4～6年生と2日間に分けて収穫しました。

例年に比べて、大きさも収穫量もやや少な目だったようですが、土を掘っていく中、ひょっこりと顔を出すサツマイモを見つけては嬉しそうに微笑む子どもたちの表情がとても印象的なひとときでした。何よりも、地域の方々や友達と一緒にできたことがうれしかったようです。整地、耕作、植付から収穫まで、お力添えくださった地域の皆様に、深く感謝申し上げます。



「アンガーマネジメント」

12月7日（水）～19日（月） 養護教諭の三宅先生による「アンガーマネジメント」授業が各学年で行われました。日によってはスクールカウンセラーの藤井先生も授業に参加して一緒に授業をしてくださいました。

感情のコントロールは、大人でも難しいこと・・・特に、“怒り”の感情をコントロールして上手に付き合っていく力は、子どもの頃から学んだ方がよいとされています。（各学年別配付『ほけんだより』参照）

低学年では、「いろいろな感情があることを知ろう」というめあてで、絵本『いらいらばいばい』を教材に、怒りの気持ちを色で表してみたり、イライラしたときの対処法を学んだりしました。

中学年では、「いかりの気持ちの上手なコントロール方法を考えよう」というめあてで、怒りを感じた時の表情を書いたり、自分に当てはまるからだの変化を選んだり、また、対処法を知らせて、対処法のひとつである「おまじない言葉をとなえる」の「おまじない言葉」を考えたりしました。

高学年は、「怒りについて知って、対処できるようになろう」というめあてで、怒りの温度計を使って、怒りを客観視したり、対処法を行動面と考え方を変える方法の二つを知らせて、考え方を考える練習をしたりしてみました。怒りを爆発させず、上手に付き合う方法を身に付けていってほしいと思います。



わくわく おもちゃランド

12月14日（水）2年生が生活科の学習で、自分たちで工夫しておもちゃを作り、1年生を招待しました。「もっとよく動くにはどうすればよいか」「1年生にもっと楽しんでもらうにはどうすればよいか」などと、友達と意見を出し合いながらよく協力し、何度も何度も試行錯誤を繰り返しながら



動くおもちゃランドを完成させていきました。

そのがんばりの成果もあって、招待された1年生は大喜びで、みんな思い切り「おもちゃランド」を楽しんでいました。お礼の手紙も書いて届くようです。



